

ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール
(事務局：市立三次中学校)

令和7年6月1日

No. 63

子どもと地域が共に育つ学校

河内小

ようこそ先輩！ ～阿賀俊彦さんの生き方から学ぼう！～



「頑張れば夢はかなう」

5月14日(火)に「キャリア教育」の一環として、西河内にお住まいの阿賀俊彦さんに来ていただき、旧国鉄にお勤めだったころの話や市内外の高齢者施設に訪問して腹話術などを上演されている話などをしていただきました。

国鉄に入ってから蒸気機関車や新幹線の運転士をされていた阿賀さん。様々な体験をもとに、「働くこと」についての思いや「夢に向かって努力することの大切さ」について話してくださり、阿賀さんの熱い語りに子ども達は聞き入っていました。阿賀さんの生き方や考え方から学んだことを、自分の生き方にぜひ取り入れて欲しいと思いました。

平和を祈って・・・ ～平和菊の栽培～

今年度も5・6年生は総合的な学習の時間に平和菊の栽培を行っています。引き続き、穴笠町の坂居君枝さんのご指導を受けながら、4月10日からスタートしています。

5月25日には、老人会の皆様にも来ていただき一緒に菊の苗をプランターに植え替えました。きれいに花を咲かせた菊は、平和を願って、8月に平和公園や河内の慰霊碑に献花する予定です。

これから暑くなりますが、平和を願いながら愛情をこめて育てていきたいと思います。



「防災について考えよう」

三次小学校 5年生

5年生は、総合的な学習の時間に「防災」をテーマに学習を進めています。

5月16日（金）には、防災士さんをお招きし、みんなで防災について学びました。体育館では、避難所体験として、段ボールバットの組み立て、仮設トイレの実験、ペットボトルランタン作り、避難所テントの組み立て、「もし三次市で洪水が起きたら？」がテーマのVR体験も行いました。フィールドワークでは、稲荷町方面と尾関山方面の2チームに分かれて、三次町で過去に起こった災害、三次町の地形、避難所の種類等について、防災士さんからお話を伺いながら町を歩きました。そして、お昼には防災食を食べました。「思ったよりおいしい!」「うーん。ずっとこれはしんどいかも。」など食べながら実際に避難した時のことを想像していました。体験を通して、様々な疑問をもった子ども達。

5月28日には、もう一度防災士の西川さんと新門さんにお越しいただき、お話を伺いました。三次市の土手の高さはどれくらい?避難場所は本当に安全?自分にもできる防災とは?などなどたくさん質問に、丁寧に答えてくださいました。これから、「自分たちにできること」を考えていきます。



地域で学び、地域に貢献する学びを

三次中

今年度、2年生の職場体験学習を、7月8日（火）～10日（木）の期間で行います。毎年地域の方々の御協力による学びをさらに充実させるため、「地域に根付き、地域に貢献されている職業から学ぶ ～自らの資質・能力をさらに向上させるために～」の視点を大切にした取組をしています。

5月12日（月）には、柘植 洋子様（広島三次ワイナリー）、延原 真由子様（Teto teto）、細川 猛様（細川スポーツ）の3名の方をゲストティーチャーとしてお招きし、「職業人講話」を行いました。三次市内で様々な仕事に従事しておられる方からお話を聞くことで、「働くこと」の意義や勤労の尊さについて知ることはもちろんのこと、地域に貢献することの価値や、人としての生き方など、多くのことを学ぶことができました。

＜生徒の感想＞

- 3人の方のお話を聞いて、自分の好きなこと、やりたいことを見つけ、やりがいのある仕事につきたいと思いました。自分の夢や目標を達成するのは決して簡単ではなく、いろいろなことに挑戦し失敗する勇気が必要だと分かりました。また、分からないことは相談するなど、主体的に動き、自信につなげたいと思いました。
- 働くことに憧れ、興味を持ちました。これから、つまづくこともあるけど、3人の方が言っておられた「勇気を出して一歩進む」、「強みを生かす」、「挑戦をやめない」ということを、これから大切にしたいと思います。



「ともえ 2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp